

シンガポールの宗教の多様性について

札幌聖心女子学院中学校
西 恵里奈

《はじめに》

「シンガポールは多民族国家」というのを聞き、信仰している宗教も色々あるのではないだろうかと思い、このテーマにしました。

《事前学習「シンガポールの宗教の種類」》

- マレー系・・・イスラム教徒（ムスリム）
- インド系・・・7割がヒन्दウー教
3割がムスリムやキリスト教徒
- 華人・・・ほとんどが仏教徒
若い人はキリスト教徒も少なくない

《事前に調べてわかったこと》

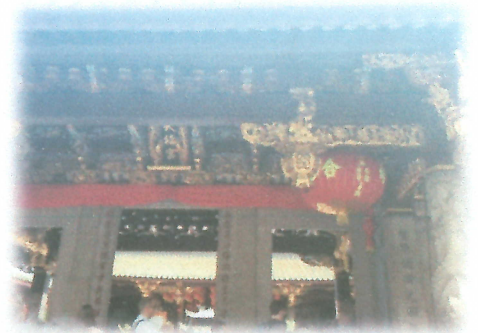
国の成り立ちや生活によって、宗教が違ってくることがわかりました。

《シンガポールでの調査》

- ホストファミリーの信仰している宗教を知る
- 市内観光で訪れるお寺について知る
- 宗教に関連する建物に連れて行ってもらう

《調査を通してわかったこと・気づいたこと》

- ホストファミリーは仏教徒
- シアン・ホッケン寺院（市内観光で訪問）
⇒シンガポールで最も古い中国寺院の1つ
1841年に建設された歴史ある建物
多くの船乗りたちが航海の安全を祈るために訪れた
- ブギスにある「スルタン・モスク」（イスラム教）
⇒札幌で見かけないような大きくて重厚な建物
金色に輝くドームはとても美しかった



《まとめ》

日本はクリスマスもあり、お正月は神社に行き・・・と様々な宗教に関わっていますが、シンガポールの人々は1つの宗教に誇りを持ち、大切にしていることがわかりました。

《おわりに》

ホームステイ中は、バディにシンガポールの有名なところへ連れて行ってもらったり、美味しい食べ物を食べさせてもらったりと、札幌では絶対に体験できないことをたくさん経験することができました。現地の生活や文化も直接肌で感じる事ができたと思います。そして、英語で毎日話す事によって自分の英語のスキルや、コミュニケーション力が少しいたと感じました。今回現地で学んだことを決して無駄にせず、学校や地域でたくさんの人に発信していき、SDGsの17番のゴール「パートナーシップで目標を達成しよう」に少しでも近づくことができたらいいなと思いました。

